

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイSES吉田校		
○保護者評価実施期間	令和7年 10月 10日		～ 令和7年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和7年 10月 14日		～ 令和7年 10月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 11月 11日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者・学校・関係機関との良い関係性・連携、共有	子ども達の成長、変化、家庭内で大変に思っていること等、言いにくい内容も伝えやすい関係性を築くことで、共有ができ、共通の対応に近づけることができる。	職員内での感じ方や把握の内容をまとめ、正しく伝えていき、関係機関との共有を継続していく。
2	子ども達と共に過ごす場所としての雰囲気	子ども達が「行きたい」と思い、楽しく通える場所であるよう雰囲気や楽しく過ごせることを大事にしている。	学校でおこなった勉強や運動・経験を自事業所でも取り入れていきながら、子ども達が主となり活動を考える日などの取り組みを増やす。
3	指導員が持つ、役割への意識	各々が得意なことを活かし活動や支援に反映させながらも、全体での活動や計画・立案時にはチームが一つになり役割を持って支援に入っている。	職員同士のコミュニケーションや打合せ、立案、振り返り、見直し等、チーム全体でおこない共有することの継続。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域や自事業所外との交流の機会が少ない為、イレギュラーな環境に弱い。	利用児童各々の特性や過ごし方の安定を大事に考えている為、慣れない環境や交流の機会がほとんどない。	地域のイベント情報や他校との共有を多く取り入れていき、好きなことや興味のあること等からイベントや交流に参加しさまざまな環境での対応力を伸ばしていきたい。
2	児童指導員(男性)の配属	現在女性指導員だけの配置の為、強度行動障害児や高学年男の子への対応が難しくなっている。	新規職員が環境や業務にうまく馴染んでいけるようサポートをしながら子ども達の対応にも入っていただき、チームとして長く継続していけるとよい。
3			